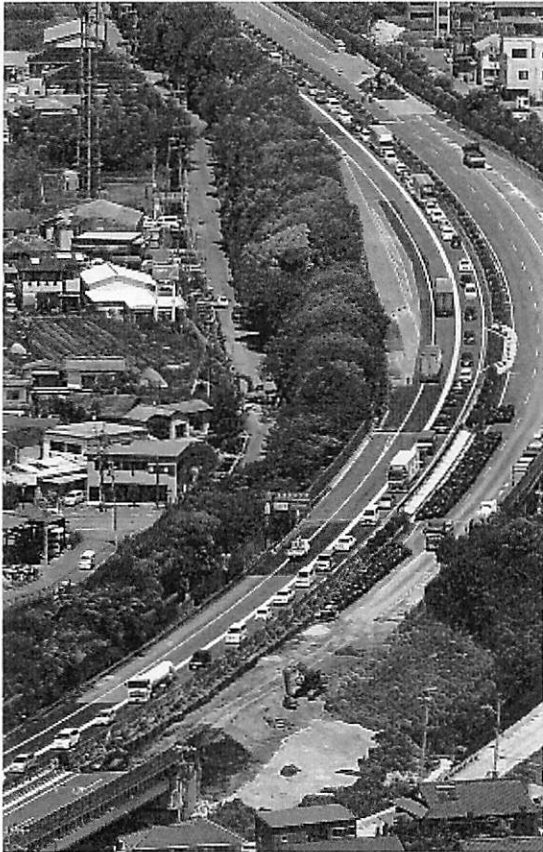


熊本地震

九州自動車道が全線開通

毎日新聞 2016年4月29日 13時21分 (最終更新 4月30日 00時04分)



復旧作業が続く影響で、一部片側1車線の対面通行で開通した九州自動車道＝熊本県益城町で2016年4月29日午前11時51分、本社ヘリから須賀川理撮影

熊本地震で一部が通行止めになっていた九州自動車道が29日午前9時、15日ぶりに全線開通した。通行制限区間は残っているものの、ゴールデンウィーク初日に九州の大動脈がつながったことで被災地の復興の加速が期待される。

最後まで通行止めとなっていたのは植木インターチェンジ（IC）－嘉島ジャンクション（JCT）間の23キロ。盛り土が崩落したり、橋桁のつなぎ目がずれたりするなどの被害が出ていた。

益城（ましき）熊本空港IC－嘉島（かしま）JCT間の4キロでは現在も復旧作業が続いており、上り線を利用した片側1車線の対面通行となっている。また、この区間にある木山川橋は地震で橋桁がずれたことから、通行量を減らすために一時停止を求める制限が設けられた。

熊本市北区の北熊本サービスエリアはこの日、九州道を利用して訪れた観光客らでにぎ

わった。家族ら10人と宮崎県高千穂町への観光に向かっていた福岡市西区の会社員、原功次さん（67）は「タイミング良く開通してくれて助かる。被災地は大変だと思うが、開通をきっかけに一日でも早く復興してほしい」と話した。

27日から熊本県内で活動している長野県諏訪市のボランティア団体理事長、笠原正好さん（66）は「これまでは渋滞がひどく、宿から被災地まで3時間もかかることがあった。活動に時間が割けるのでありがたい」と歓迎した。

一方、大分自動車道は湯布院IC－日出（ひじ）JCT間（17キロ）で通行止めが続く。西日本高速道路はゴールデンウィーク明けの開通を目指している。【山下俊輔、真下信幸】

毎日新聞のニュースサイトに掲載の記事・写真・図表など無断転載を禁止します。著作権は毎日新聞社またはその情報提供者に属します。

Copyright THE MAINICHI NEWSPAPERS. All rights reserved.